

令和元年6月27日

保護者の皆様

県立新潟東高等学校長

「こころとからだの健康アンケート」事業について

日頃、本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、心から感謝申し上げます。

さて、県教育委員会では、いじめ対策、自殺予防対策で各種事業に取り組んでおりますが、このたび、標記事業を下記のとおり実施することとしており、その事業実施校として、本校が指定されました。

つきましては、本校としても、事業の推進に協力していきたいと考えておりますので、何卒、ご理解とご協力をいただきますようお願いいたします。

なお、ご不明な点がございましたら、担当までお問い合わせください。

記

1 事業名 「こころとからだの健康アンケート」

2 内 容

(目的) 新潟県教育委員会と東京大学が連携し、自身の精神不調を言葉に出して表現することが難しい生徒の助けとなり、さらに養護教諭等が生徒の精神不調を適切に受け止める一助となる評価システムを利用し、生徒の悩みなどを早期に発見し、重大事案の未然防止に資すること

(実施期間)

令和元年7月1日(月)から令和2年3月31日(火)まで

(内容) ※裏面の事業イメージを参照してください

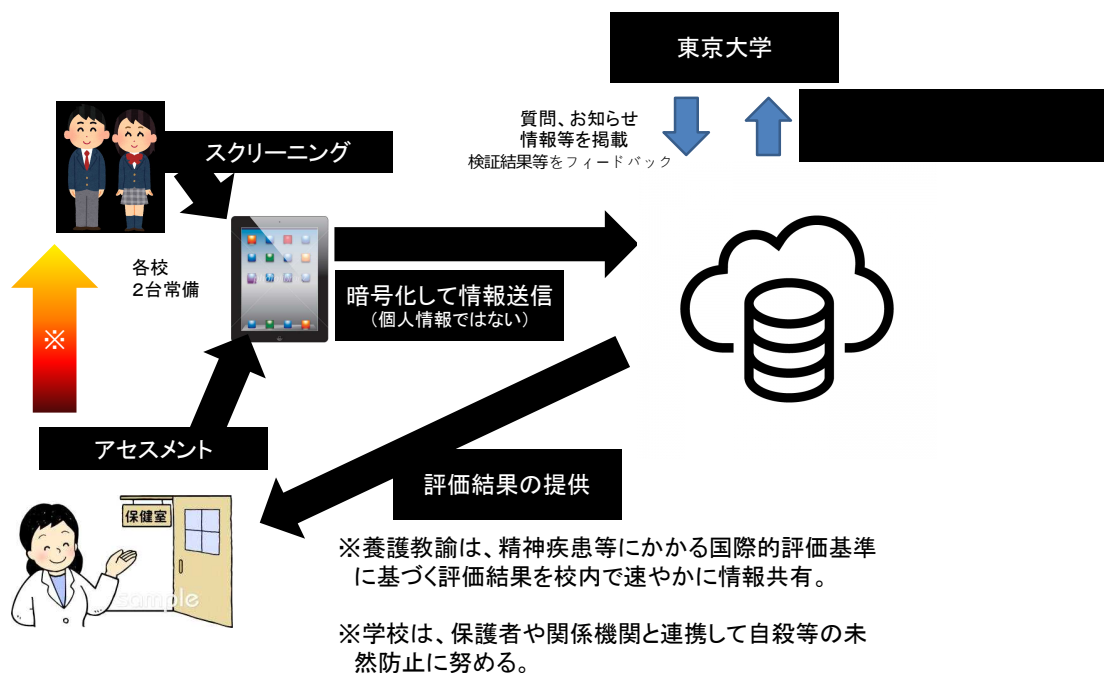
- (1) 保健室に、携帯端末(iPad)を2台常備し、相談のため来室した生徒がアンケートに答え、その後、養護教諭がアセスメント(問診)を行う。
- (2) 上記の結果が、東京大学の監修する国際的な尺度に基づき評価され、速やかに学校に提供される。
- (3) (2)のデータをもとに、学校は、保護者や関係機関等と連携し、適切かつ迅速な対応を実施する。

3 その他

- ・このアンケート(相談システム)は、全生徒に強制するものではありません。
- ・送信されるデータは、暗号化したものであり、個人情報ではありません。
- ・この事業で学校が収集した情報は厳重に管理します。

担当	教頭 杵鞭 義孝
電話	025-271-7055(代)

事業イメージ



東京大学（健康教育学研究室）に送られる匿名データ*の扱いにつきましては、
研究室のホームページ（URL）をご参照ください。

http://www.p.u-tokyo.ac.jp/~kenkou/project/37mental_health_assesment.html

保護者・生徒のみなさまへ

「こころとからだの健康アンケート」事業に伴う 東京大学でのデータ解析に関するお知らせ

東京大学大学院教育学研究科健康教育学研究室教授 佐々木司
東京大学大学院教育学研究科健康教育学研究室研究員 北川裕子

「こころとからだの健康アンケート」事業は、新潟県教育庁主導のもと新潟県内の高等学校および中等教育学校で実施されるものです。

この事業の目的は若者の精神不調および自殺リスク等を学校現場において早期に発見し、適切な支援に繋げることで重大事案を未然に防ぐことです。

東京大学健康教育学研究室は新潟県教育庁からの依頼を受け、本事業に対して同研究室で開発したタブレット端末搭載の心身不調アセスメントシステム（RAMPS⁺）を提供することで学校の健康管理業務の向上に協力しています。

各学校から得られる匿名データは次の目的のため東京大学で研究解析されます。

- ・ **精神不調や自殺リスクの判定精度を向上し、心配な生徒への早期のケアを実現する**
- ・ **高校生・中等教育学校生の精神不調や自殺リスクの状況を明らかにし、支援の向上に役立てる**

本事業に伴う研究解析は、東京大学倫理審査専門委員会の承認を得ており、東京大学研究倫理指針に従って実施されます。

以下に、学校での本事業の実施概要と実施に伴う東京大学での研究解析の概要を記します。

学校での実施概要

東京大学健康教育学研究室で開発したRAMPSシステムを活用して、保健室での（一部学校では、健康診断でのメンタルチェックにも利用）精神不調アセスメントを実施します。

- ・ **保健室での活用**（2019年度は22校全校で実施）
保健室に来室した生徒が心身の状態、学校生活に関わる10問程度の質問に回答します。回答はシステムにより瞬時に集計されます。心配な回答がある場合は養護教諭が追加の質問を行います。
- ・ **健康診断での活用**（2019年度は一部学校で実施）
定期健康診断等の中で全生徒を対象に、身体健診の待ち時間等を利用して実施します。

保健室でのチェックや健康診断で緊急性の高いリスクが見出された場合には、対応方法のアドバイスを含めて、各学校より結果を保護者にフィードバック致します。なお、保健室でのチェックや健康診断は学校の業務の一環として行われますが、回答は強制されるものではありません。

東京大学での研究解析

上記で得られるデータを匿名化し、以下の目的のために解析します。

- ・ 精神不調や自殺リスクの判定精度を向上し、心配な生徒への早期のケアを実現する
- ・ 高校生・中等教育学校生の精神不調や自殺リスクの状況を明らかにし、支援の向上に役立てる

本システムに搭載している精神不調や自殺リスクの判定精度の向上には、生徒から実際に得られるデータを研究解析することが不可欠です。具体的には、システムには身体不調から精神不調まで幅広く評価指標を搭載していますが、例えば「複数の質問にどのような回答パターンを示す生徒でリスクが高いか」を検討し、自殺リスク等を見逃さない判定基準の精度向上等の必要があります。また、実際の回答を解析することで、高校生・中等教育学校生の心身の健康に関する状況を把握し、学校等での支援の向上に役立てることが可能となります。

[個人情報の取り扱い]

データの収集 生徒の名前や生年月日などの個人情報は一切収集しませんので、特定の個人が識別されることはありません。

データ解析 各データにはランダムに発生させた番号を解析用の ID として割付け、さらに ID と回答データは暗号化処理をした上で別々のクラウドに保存されます。解析の際は、外部接続のないハードディスクにデータを保存し、当研究室で厳重に保管します。

[保護者・生徒のみなさまへ]

回答結果（匿名データ）の東京大学健康教育学研究室での解析にご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者：東京大学大学院教育学研究科健康教育学研究室 教授 佐々木司

研究実施者：東京大学大学院教育学研究科健康教育学研究室 研究員 北川裕子

所在地：東京都文京区本郷 7-3-1 東京大学大学院教育学研究科 **メール**：yk@p.u-tokyo.ac.jp（北川）

東京大学教育学研究科健康教育学分野ホームページ「携帯情報端末による心の健康評価」ページ
www.p.u-tokyo.ac.jp/~kenkou/project/37mental_health_assesment.html

†: RAMPS は「Risk Assessment of Mental and Physical Status = 心身状態の評価」の頭文字で「接続経路」という意味もあります。ケアや支援への橋渡しにと願い名付けました。